

平成22年4月、
近畿大学附属小学校は
奈良市あやめ池の畔に移転します。

(設置認可申請中)

「あやめ池計画」始動！



近ちゃん

小ちゃん

近畿大学附属小学校

イラスト／木原晴夫校長



近鉄「菖蒲池」駅上部からの近畿大学附属小学校・幼稚園全景（完成予定図）



校長 木原 晴夫

近畿大学附属小学校は、「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人になろう」との教育理念のもと、さまざまな教育活動を展開しています。

昨今、学習指導要領が改正され、心の教育、豊かな心、道徳心を育てることに重点が置かれるようになりましたが、本校では昭和29年の創立当初から、思いやりや優しさをもち、適切な人間関係が構築できるよう、「学舎・学習旅行」、「高浜臨海学舎」、「耐寒マラソン・生駒登山」等、多くの体験活動を行ってきました。また、現在では、算数科で、「習熟度別学習」「問題解決学習」を導入するなど、自らの課題や問題を、自らで解決していく力・生きる力を育むべく努めております。

そして、この度、平成22年4月、近畿大学附属小学校は、奈良市あやめ池に移転します。あやめ池は自然豊かな場所です。幼少期の自然体験が心の成長の大きな糧になるということは言うまでもありません。自然から得る感動は、生命や自然への畏敬、尊敬の念を育みます。また、自然から得る心の充足は、心身の健やかな成長を促し、知への探求心をかきたてることでしょう。歴史や文化溢れる奈良という立地もまた、子どもたちの知的好奇心を大きく刺激することでしょう。

創立55年、一貫して「体験学習」を重視してきた本校の教育活動が、奈良市あやめ池の新キャンパスを得て、より充実することは間違いありません。

教育環境

四季の移ろいを感じる日々。

太陽の光を浴びて、元気いっぱいに運動場を駆け回る子、虫捕りに没頭する子、栽培園の作物の生長を心待ちにする子、テラスで読書を楽しむ子……。

身近にある自然、最新の教育設備が、子どもたちの個性、能力、可能性を引き出します。

幼小をつなぐ連絡橋



小学校教室棟2階と、幼稚園1階とが連絡橋でつながる形になります。小学校教室棟内に、園児と児童の交流空間を設け、異年齢間の交流を促進、仲間意識を育みます。



習熟度別学習の際には、「習熟度別教室」を活用して、2学級を3クラスに分割し、一人ひとりの学習効果を高めめます。



体育館
式典やシンポジウムも開催できます。

あやめ池

風、光、香り、水辺ならではの四季の移ろいを実感できる遊歩道。

学校ビオトープ
予定地

既存樹を活かした森
自然散策はもちろん、教科書に登場する植物などを新たに植え、児童の自然学習に役立てます。

正門



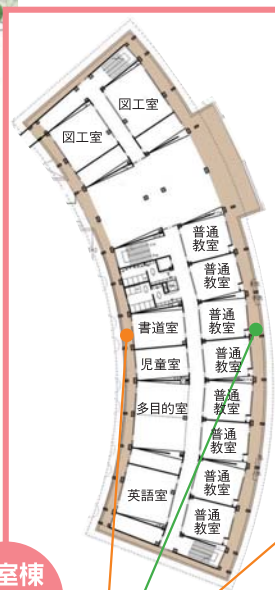
近畿大学附属小学校全体俯瞰図
(完成予定図)

教室棟
1F

職員室

職員室にいる教員が、運動場や児童アプローチを見守れる配置となっています。

教室棟
2F



半屋外活動空間にもなる、奥行きが深い、そして、肌触りのやさしい、ウッドデッキバルコニー。

〔教室棟西端〕 池からの風を頬に受け、“大船に乗った気分”が楽しめます。
〔教室棟東端〕 奈良市街地や若草山をのぞみます。

教室棟
3F





複数の教師が一人ひとりの状況に応じて、アドバイスをしながら学習を進めるT.T(ティーム・ティーチング)制を採用。

「知っている」
のではなく、
なぜそうなるのかが
「わかる」子どもに。

すべての子どもたちを主体的な学習活動へと導く、
本校算数科における問題解決学習の様子をご紹介します。

ある日の5年生の授業

「立方体の展開図が何種類あるのか」を考える授業。
この前の時間に、立方体の展開図について学んでおり、
子どもたちには、「立方体なら54種類である」との
知識は備わっている。

そこで、まずはこの知識と、立方体の展開図につい
て考えた際の経験をヒントに、各自に推理させてみる。
すると、子どもたちには、「面の形が全て同じだから、

直方体より少ないのではないか」等といった、ある程
度の見通しが立つ。それぞれが考えた見通しを発表し、
その可能性について検討し合った後に、一斉にそれぞ
れのやり方で作業に移る。

経験から来る自信と自分なりの見通しを得た子ども
たちの動きは驚くほどスピーディーだ。

T.T(ティーム・ティーチング)制をとっているため、
進みあぐねている子どもがいれば、いずれかの教師が
すぐにフォローに入る。

そして、クラス全員での答えの検証作業へ。

その結果、たどり着いた「11種類」という答えに、
皆が納得したところで、教師は、「展開図の向かい合
う面に印をつけてごらん」と促す。

すると、子どもたちは、立方体の展開図探しの時に
そうであったように、やがて浮かび上がるであろう「何
か」を早く知りたくて、再びそれぞれの作業に没頭し
ていく。



別の日の5年生の授業

子どもたちが、初めて「小数÷整数」の計算式の方法を考えるという時間。

教師は、まず、教室に1.5ℓのペットボトル入りのジュースと5つのコップを持ち込む。その上で、「1.5ℓを5人で等しく分けます。一人分は何ℓになりますか？」と問いかける。決して、「今日は、小数÷整数の授業をします」といって授業を始めるようなことはしない。

1.5ℓのペットボトル入りのジュースと5つのコップを目の前にした子どもたちに、「一人分は、1ℓよりは少なくなるだろう」との結果の見通しをもたせるようにするのだ。ただし、コップに目盛りがついていない以上、そこからは自力で $1.5 \div 5$ の計算の方法を考え出すしかない。

しかし、問題解決学習に慣れた子どもたちは、普段の学習から、自然と、自分たちにすでに備わる知識を活用すれば、何とか答えを導き出せるのではないかと考える。

実際、「小数のわり算をすればいいんだよね……」、「図に表せばできるんじゃない?」、「1.5ℓは15dlだから、整数のわり算で考えることができる!」……と、解決の糸口となりそうなアイデアが、次々と飛び出してくる。それぞれが十分に考え、その方向性が合っているかどうかを確認できた時点で、教師は、「さあ、自分

がやりたいと思う方法で解いてごらん!」と自力解決を促す。

見通しをもち、 筋道を立てて考える子どもに。

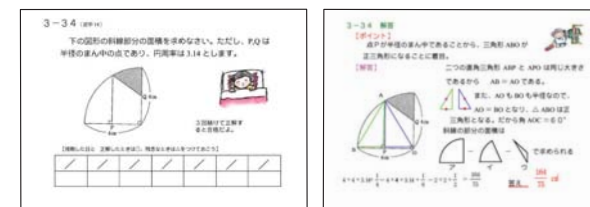
5年生の2つの授業に見られるように、本校では問題に向き合う際は、必ず、解決のための見通しをもち、その見通しのもと、筋道を立てて考えるよう指導しています。

そのためには、基礎・基本の習得はもちろん、子ども自身が意欲をもって授業に参加できるようにすることが何より大切だと考えます。そこで、子どもたちが「解いてみよう」「解けそうだ」と思えるような、ゲームや遊び、子どもたちの日常体験、あるいは、今までに習った内容が活かせる課題を設定するよう配慮しています。

他者の考えを 認められる子どもに。

友人の立てた自分とは違った見通しや、それらの見通しがたどった過程を知ること、子どもたちは、答えを導き出すためのいろいろな考え方、方法があるんだということを実感します。

「もっと学びたい!」近小マスターカード に応える



(表)

(裏)

表に問題、裏にその解答と解説が記された、「近小マスターカード」(5、6年生)。問題解決学習で身につけた主体的な学習姿勢を、より引き出すためのさまざまな工夫を凝らしています。

そのため、この学習法で学び続けることで、子どもたちには、自ずと常に他の解決方法を探ろうとする姿勢が備わります。

また、自分と友人の立てた見通しとを互いに検討し合うことで、「自分の考えがみんなに認めてもらえてうれしいな」、「みんなと一緒に学習するとよくわかるな」といった、共に学習する利点、楽しさ、他者の考えを認める心が育まれます。

最初の時点では、課題にどう取り組みればよいのかわからなかった子どもも、友人らが発表する見通しをヒントに、自らで考え、自らで解けた喜びを得ることが出来ます。

わかって、できて、 好きになる喜びを。

このように、問題解決学習とは、答えを「知っている」のではなく、なぜそうなるのかが「わかる」子どもを育てるための学習スタイルだと言えます。

わかる喜びが、学ぶ楽しさにつながり、次の課題に取り組む意欲になります。こうして身についた力は、あらゆる場所で活かされていきます。

わかって、できて、好きになる——これ以上の喜びは、子どもたちにも、教師たちにもありません。

(算数科担当・松岡克典)

指導体制

「わかった!」の 声が響く楽しい学校。

すべての子どもが、考える楽しさ、わかる喜び、満足感を味わえる学習指導に取り組んでいます。

問題解決学習に注力

本校では平成21年に、国公私立の枠を超えた教員らが指導方法について研究するための拠点となる「近畿大学算数教育研究会」を発足させるなど、特に算数科の指導に注力しております。

中でも、知識偏重ではなく、目の前の新しい課題に対して、自分が今まで身につけてきた知識や技能を上手く利用し、自ら壁を乗り越え、解決していくという問題解決型の学習法を採用しています。

自分の力で解決できたという満足感や充足感を得た子どもは、新たな課題に対しても積極的に取り組むようになり、自分にすでに備わっている知識を活用すればできるんだという達成感、算数のみならず他の学習にも必ず生きてきます。

そうして得たしっかり考える力は、やがて生きる力へとつながっていきます。新たな課題を自力で解決した子どもは、「授業がよくわかった」、「考えることは楽しいんだ」と自然と思えるようになります。このように勉強が楽しいと感じられて初めて、子どもたちにとって学校は楽しい場所となるのです。

平成22年4月のあやめ池移転により、本校の学習環境は申し分のないものとなります。我々教師もいっそう研鑽を重ね、子どもたちが心から楽しんで通える学校にしていきたいと思っています。



副校長 金山 憲正

「楽しい、もっと頑張ろう」 の姿勢を育みます。



主体的な学習活動へと導く 指導体制

□算数科教育

- ・T.T(ティーム・ティーチング)(3～6年生)
1つの学級を複数の教師で指導し、一人ひとりの子どもの実態に応じて、適切な助言を行いながら学習を進める方法です。また、学級を2つに分けての、小集団としての指導もあります。

- ・習熟度別学習(4～6年生)
一人ひとりの学び方の違いや、これまでに学習してきている内容についての習熟の程度を考慮した、きめ細かな指導方法です。

・問題解決学習

新しく出会った課題を、これまでの学習で身につけてきた知識や考え方を工夫して活用することにより、解決していく学習の進め方です。

□国語科教育

- ・音読
- ・日記指導
- ・漢字教育

□少人数学級(1クラス30名)

□教科担任制・専科制の導入

理科・音楽・図工・家庭・英語・書道・図書・情報

□土曜日(奇数週)の有効利用

□放課後学習の実施

習熟度別学習もとり入れています。

近畿大学との連携教育

農学部

学校ビオトープに訪れる
生きものや、農作物の成長に、
胸躍らせて。

～ 目指せ！ ホタル舞い飛ぶ学舎 ～



近畿大学農学部事務部
技術職 ビオトープ専門

米本 桂子 さん

「生命の循環」を 体感できる最高の環境

大学生もしたり、最近の子どもたちは、土や植物、昆虫などの小動物にふれる機会が、とても少なくなっています。植物は花屋、野菜はスーパー、昆虫や小動物はペットショップで売っているもので、初めからその姿である、と捉えてしまっていてもしかたがないのかもしれません。

近畿大学農学部では、それぞれが、どのような環境で生まれ、育っていくのか、生命の「つながり」や「流れ」を体感できる機会を多くの児童に提供するため、さまざまな活動に取り組んできました。

それだけに、平成22年の近畿大学附属小学校・幼稚園の奈良市あやめ池への移転は、同じく奈良市にキャンパスを構える農学部の教員、学生らにとって絶好の機会であり喜びです。

あやめ池^{ほとり}の畔は、「自然の楽しさ」を365日満喫できる申し分のない環境。教科書に出てくる植物、昆虫はもちろん、池とせせらぎを中心とした学校ビオトープ、収穫も楽しめる野菜畑や田んぼ、紅葉の美しいモミジやイチョウ……と、児童が、移ろいゆく四季を五感をフルに使って日々感じることで、自然と一体化した学校づくりを共に進めたいと考えています。

「生きた教材」だからの 驚き、発見、温もりを。

あやめ池周辺は、かつてはホタルの生息する地域でした。そのため、自然溢れる学校づくりの一環として、全校児童の力であやめ池の自然を再生する^{*}学校ビオトープづくりを提案しています。

まず、学校ビオトープの中心となる池とせせらぎづくりです。池になる場



農学部の「自然体験教材園」での作業風景

現在、農学部では、学生団体「FeeLink」が中心となり、大学近隣の小学生たちが収穫などを体験できる教材園を運営しています。附属小学校が完成した際には、いつでも教材園を体験してもらったり、学生が学校に出向いて一緒に作業を行ったりできるよう、準備を整えています。

所の小石拾いは低学年、池を掘るのは力のある高学年、土運びは団結力が深まっていく中学年、とそれぞれの体力や発達段階に応じ、一から自分たちの力で学校ビオトープづくりに取り組んでいけたらと考えています。

自分たちが手掛けた場所に、やがていろいろな生きものがやって来る。児童にとっては、まさに驚きや発見の日々でしょう。「生きた教材」から得られるものは、無限大です。そんな教室の中では決して学ぶことのできない生命の温もりを、たくさん感じとってほしいですね。そして、社会に出たときには、「ホタルの舞う学校に通っていた」と児童みんなが自慢できる学校になればと思います。

^{*}学校ビオトープ

学校単位で、自然のしくみを学ぶためにつくられた、その地域にもともとい（いた）、多様な生きもののすみか。

他にもいろいろ 近畿大学との連携教育

医学部及び附属病院

医学部・病院見学

医学や医療をより身近に感じられるよう大学医学部、病院内を見学。最先端の施設・機器、そして「生命」「人体」と向き合う「医療のこころ」にふれます。（6年生）



法学部

模擬裁判

司法についての理解を深めるため法学部の法廷教室を訪問、日本の裁判制度についての講義を受けた後、モデルとなる事件のシナリオに基づき模擬裁判を体験します。（5年生）



文芸学部

絵画鑑賞教室

芸術学科の先生に解説いただき、それぞれの名画のもつ意味や表現について鑑賞します。（3年生）



狂言鑑賞会

演者らの研ぎ澄まされた技にふれ、日本の豊かな伝統文化をしっかりと感じ取ります。（5・6年生）



英語村 E³ (e-cube)

コミュニケーション

「中に入ると会話はすべて英語」という大学構内の「英語村 E³」を訪問。ゲームや工作をしながら、英語でコミュニケーションする楽しさを知ります。（4年生）



1 年

	月	火	水	木	金	土
1	道德	音楽	国語	書写	国語	国語
2	体育	算数	国語	図書	音楽	算数
3	算数	図工	算数	国語	算数	生活
4	国語	図工	体育	PC/国語	体育	
5	英語	国語	特活	生活	生活	
6		* 演習				

5年

	月	火	水	木	金	土
1	道德	国語	国語	算数	国語	国語
2	算数	理科	社会	音楽	理科	算数
3	家庭	音楽	理科	国語	書道/国語	* 演習
4	家庭	算数	国語	PC/国語	算数	
5	社会	図工	体育	社会	体育	
6	体育	図工	算数	特活	英語	

※演習…国語、算数を中心とした基礎学力の定着を図ります。

■入試説明会

- 第一回 平成21年6月6日(土)
9:30 ~
学校公開及び入試説明会
- 第二回 平成21年7月4日(土)
14:00 ~ 16:00
小学校・幼稚園合同説明会
(於：奈良市北部会館〈近鉄高の原駅南へ5分〉)
- 第三回 平成21年8月29日(土)
10:00 ~
入試説明会
※同時時間帯で体験入学(年長児対象)を実施。

■出願受付

平成21年9月10日(木)
～9月16日(水)
※消印有効(郵送のみ)

■募集人数 120名

120 名

■入学検定料 20,000 円

20,000 円

■ 面接日

平成21年9月26日(土)・27日(日)
※どちらか1日を選択。(15分程度)
保護者面接は、原則として両親で。

■ 試 験 日

平成21年10月2日(金)

平成22年度
入試案内

■合格発表

平成21年10月5日(月)
※郵送にて発表。合格者には手続書類を同封。

■入学手續期限

平成21年10月9日(金)
16:00
※事務室にて窓口受付

○体験入学のご案内(年長児対象)

平成21年5月9日(土)
9:40～11:00 (9:30 受付)
※事前予約が必要となります。詳細はHP等でご確認ください。

○学校行事見学のご案内

運動会

平成21年9月20日(日)
(於：近畿大学クラブセンターグラウンド)

図工作品展・音楽会

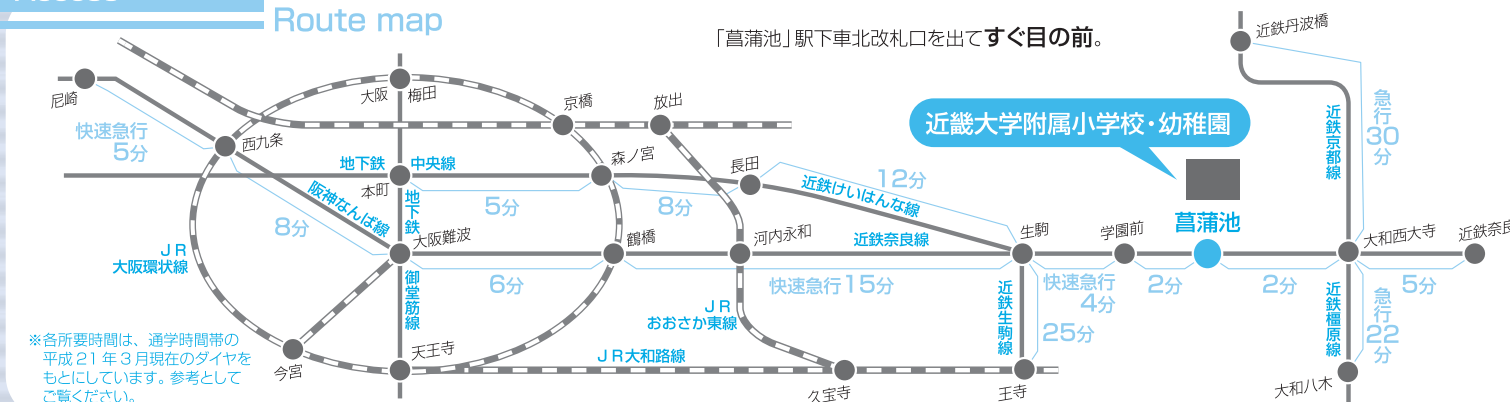
平成21年12月9日(水)
(於：八尾プリズムホール)

※お気軽にお越しください。

※上記以外の日にも、随時、学校見学を受け付けております。
ご希望の方は下記問い合わせ先までご連絡ください。

Access

Route map



移転先所在地

奈良市あやめ池北

お問い合わせ・資料のご請求は、

近畿大学附属小学校事務室

〒577-0804 東大阪市中小阪3-17-12

TEL:06-6721-4900 FAX:06-6727-6205

<http://www.fes-kinder.kindai.ac.jp/fes/>

E-mail : fes@msa.kindai.ac.jp